

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

久慈工祭は、10月30日・31日に開催されます。今年度も、入場者を生徒の家族に限定しての実施となります。地域の皆さまに、ご覧いただくことはできませんが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

創立40周年記念式典

本校の創立40周年記念式典が、野田村体育館において、10月9日に挙行されました。昭和55年4月、久慈高等学校より分離独立し、県内9番目の工業高校として開校しました。現在は、学科改編により、先端技術と高度情報化に対応した学科を設置しています。卒業生は4915名に上り、産業界など様々な分野において、全国各地で有為な人材として活躍しています。

生徒を代表して前期生徒会長の建設環境科3年上野翔生君は、「先輩方が築いた伝統を受け継ぎ、この先さらに続く歴史の担い手となれるよう、自覚と誇りを持って努力を続けます。」と決意を述べました。



新人大会壮行式

県新人大会及びものづくりコンテストに出場する選手を激励するため、10月4日に壮行式が開催されました。各部が掲げた目標に向かって、積み重ねてきた練習の成果を発揮する大会が始まります。



地域理解学習～1学年～

久慈地域の産業を理解するための地域理解学習を、1学年と2学年で行っています。前回の2学年に続いて、10月6日に1学年の地域理解学習を実施しました。活動内容は、のだ塩工房での「のだ塩づくり」体験です。工房で塩づくりの歴史と製法を学習し、実際に塩づくりに挑戦しました。海水を煮詰める古くからの製法で、伝統産業を体験することができました。



資格取得:施工管理技術検定

建設環境科の生徒が取得を目指している施工管理技術検定は、建設業法に基づく国家試験です。建設工事の実施に当たり、「施工管理技士」として工事を技術的に管理・監督する役割を担います。

土木又は建築の種目の受験に向けた対策として講習会も実施しています。試験内容が幅広く、難化していますが、建設工事における施工管理の技術責任者として、活躍する場は拡大しています。

